

【考え・基礎知識】

自然災害についての詳細を調べ、自主防災の必要性について説明することができる。

◇ 学年 第1学年

◇ 題材 自主防災の必要性について考えよう。

ホームルーム活動(2)ケ 生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣の確立。

◇ 目標 自然災害に対しての心構えを身に付け、身の回りの人の安全を確保する適切な行動をとることができる。

【つながり】

学校周辺の地形や道路状況、建物等の情報を収集し、高校生が地域の一員として行える自主防災の方法を考え、活動の自己決定ができる。

【応用・広がり】

自らの命や地域の方々の安全を確保するため、高校生として可能な行動を地域の中で率先してできる。

時	主な学習活動
事前の指導	【事前課題学習で基本的な知識を学習する】 ・自主防災の概要及び必要性について調べる。 ・調べた課題をグループ内で共有する。
1	【話し合い活動を通して、高校生の取るべき行動の具体を考え自己決定する】 ・地域での災害時の状況を想定し、話し合い活動を通して、自主防災活動を行う上での様々な課題を発見し、自己や地域を災害被害から守るためのこれからの行動を自己決定できる。
事後の指導	【行動の実践・評価・振り返りを行う】 ・行動計画を作成し自主防災の実践につなげる。 ・教職員や家族、地域の方等と自主防災活動を行い、定期的に振り返りや評価を行う。

◇ 本時の目標 災害時の地域の課題に気づき自身や地域の安全を守る姿勢を身に付けさせる。

◇ 学習の流れ(1時間目/全1時間)

学習活動	指導上の留意事項(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 課題意識を持つ。 ・災害の際、学校周辺の様々な避難状況を想像し危険に関する気付きを出し合う。	◇調べた情報を出し合い、危険と考える部分を発表させる。 ◆教師が撮影した学校周辺の写真を黒板に貼り、気付きを促す。	生徒の日頃の生活も振り返らせることで課題意識を持ちやすくする。
2 本時のめあてを確認する。 めあて 災害時の緊急事態に備え、高校生として自身と地域の安全を守るために行える自主防災の行動を考えよう。		
3 グループ活動を行う。 個人で調べた知識の共有から話し合い活動を発展させる。 ①「危険」の分類。 ・付箋に書き出し、種別に貼っていく。	◇付箋に記入させ、人・物・場所に分類し掲示させる。 ◇課題が分類できることに気付かせる。 ◇人、物、場所に分類させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">予想される気づき 人・・・近隣にお住いの老人 物・・・地震で倒れそうなボール 場所・・・氾濫しそうな川</div>	課題を分類することで、具体的な活動がイメージしやすくなる。
②高校生が自主防災できることを取り上げていく。	◇自分の生活を振り返り、自分たちにもできることを考えさせる。 ◇高校生ができる防災活動を考えさせる。 ◇発表内容を決めさせる。	
4 各グループからの発表を行う。 個人の気付きにつながる、具体的な発表を心掛ける。	◇日頃の備え、災害時の行動と分けて発表させる。 ◇地域や身の回りの人の安全を守る活動も発表させる。	日常生活を振り返らせることで、危険を予測する力や回避する力が向上する。
5 気付きを生かした、個人の行動を決定する。	◇自主防災の具体を記入させる。 ◇行動は日常生活において行える防災活動とする。 ◆いくつかの具体の行動例を示し、発案につなげる。	
6 本時のまとめを行う。		
<p><生徒のまとめ例> 普段の生活や住んでいる地域を自主防災の視点で振り返った時に、防災に対する工夫や課題が見えてきました。また、地域のお年寄りや、小さな子供に防災について呼びかけることも、高校生ができる役割であることも認識できました。</p>		・日常生活における自主防災の課題を明確にし、より良い防災方法を見出すことができる。 〔集団の中の一員としての実践・思考・判断〕 (行動観察、ワークシート)
7 本時を振り返り、今後の生活につなげる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">「応用・広がり」を意識した発問 地域の一員としてどのような防災活動ができるかを考えてみよう。</div>	◇今後のSHR等で、定期的に評価・振り返りを行わせる。 ◇日常生活において、家族、地域の方等への適切な呼びかけ方や実際の自主防災活動についても考えさせる。	